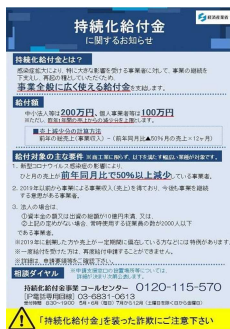


普及活動情勢報告（令和2年5月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

新型コロナウイルスの影響に関する支援策の周知について ～持続化給付金等の情報の発信～



給付金のリーフレット

5月8日、関係機関3者(土佐市、JA高知県土佐市、農業改良普及課)で、新型コロナウイルスの影響を受けている生産者への支援策について検討を行いました。

土佐市ではユリやメロン等の品目が、消費が落ち込む等の影響を受けています。圧迫される経営の支援策として経産省から「持続化給付金」等の制度が実施されることとなり、加えて土佐市では独自の支援策も実施されます。

検討する中で、各支援策の周知が十分できるように取り組む事が必要であることが確認され、各広報誌や生産部会の連絡網等での発信を行うこととなりました。

農業改良普及課は、各関係機関と連携し、支援策の周知が十分できるよう取り組んでいきます。

(公財)いの町農業公社と主力品目の作付けについて検討 ～収益アップを目指して！～



改善策の検討中

5月14日、いの町農業公社と農業改良普及課で収益部門の主力品目として位置づけているニラと加工用ワサビの作付けについて検討しました。

多品目の苗や野菜を栽培している中で、今作のニラ定植の遅れの要因確認と来作に向けての改善策検討や、次作のワサビは種時期の確認を行いました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、いの町農業公社の運営・栽培支援を行っていきます。

JA高知県土佐市ズッキーニ部会の生産・販売状況について検討 ～ズッキーニの収量・品質の向上に向けて～



栽培・販売の視点から課題と対策を検討中

5月12日、普及課、JAの営農指導員、販売担当の3者で、ズッキーニ部会の秋冬期作の反省と、春期作の栽培・出荷状況について情報共有と検討を行いました。

話し合いの中で、秋冬期作における作付けの遅れ、収量・品質の低下等の課題が挙がり、春期作及び次園芸年度に取り組むこと、今後部会全体で共有すべきことをまとめることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、ズッキーニの安定生産に向けた支援を行っていきます。

とさし旬物クラブの新加工品パッケージについて検討 ～「ショウガ焼きのタレ」の商品力向上に向けて～



種類別のコストや扱いやすさの違い、作業の仕方などを質問中

5月8日、とさし旬物クラブから、新商品「ショウガ焼きのタレ」のキャップ部分に衛生面を考慮して和紙で飾り包装をしたいとの相談を受け、土佐市内の土佐和紙販売業者にて検討を行いました。

和紙の種類や色合い、大きさと単価、止める紐の素材や色合い、長さや単価、作業の仕方など業者の方に普及課からも質問しながら、作業性の良い素材を検討することができました。

農業改良普及課では、今後も和紙以外のプラスチックのキャップシールなども提案し、商品力向上に向けて支援していきます。